

令和 3 年度 第 1 回 運営推進会議報告書

開催日時		令和 3 年 5 月 20 日 (木)	13 時 15 分～13 時 45 分
参 加 者		議 題	
利用者	1 名	(1) 事業所の特色	
利用者家族	2 名	(2) 利用者状況	
地域住民の代表者	名	(3) 活動状況報告 (11 月～5 月)	
市職員	1 名	(4) 苦情・事故・ヒヤリハット報告	
はたやま地域包括支援センター職員	1 名	(5) ご意見・要望・提案・助言	
事業所	4 名	(6) その他	
会 議 録			
<p>※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面開催を中止とし、各委員へ意見照会をしました。</p> <p>(1) 事業所の特色 認知症対応型デイサービスは、認知症の診断を受けた方が、それぞれの認知症の症状に合わせた個別ケアに取り組んでいます。家族との連携を図り、在宅での生活を維持できるよう支援しています。</p> <p>(2) 利用者状況 5 月現在 要介護 1：1 名 要介護 2：0 名 要介護 3：1 名 要介護 4：1 名 要介護 5：0 名 (計 3 名) ・6 月に、要介護 1 の男性利用者 1 名が増える予定です。</p> <p>(3) 活動状況報告 (11 月～5 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11 月 ・ 工作レク 1 2 月のカレンダー作り (サンタクロース) 壁飾り作り (絵手紙・柿) 個別レク (コースター作り) ・ その他レク 体操 (ごぼう先生のイス体操) 紅葉狩り 26 日・27 日 ・ 12 月 ・ 工作レク 1 月のカレンダー作り (富士とやっこ) 壁飾り作り (凧作り・牛) 個別レク (リース作り) ・ その他レク 体操 (ごぼう先生の健康体操) ・ 1 月 ・ 工作レク 2 月のカレンダー作り (雪うさぎ) 			

- 壁飾り（雪だるま・新春の凧あげ）
 - 個別レク（フェルトカバン作り）
- ・その他レク
 - お誕生日会…手作りケーキでお祝いしました。
 - 初詣（深川神社） 25日
 - 体操（ごぼう先生のイス体操）
- ・ 2月 ・ 工作レク
 - 3月のカレンダー作り（椿と鳥）
 - 壁飾り作り（おひな様）
 - 個別レク（鬼のペン立て作り）
 - ・その他レク
 - 節分会（豆まき）1日
 - 体操（ごぼう先生のイス体操）
 - ・ 3月 ・ 工作レク
 - 4月のカレンダー作り（ちょうちょ）
 - 壁飾り作り（しだれ桜）
 - 個別レク（ひな飾り・あでやか切り絵・フェルトカバン作り）
 - ・その他レク
 - 体操（ごぼう先生の健康体操）
 - ・ 4月 ・ 工作レク
 - 5月のカレンダー作り（こいのぼり）
 - 壁飾り作り（こいのぼり）
 - 個別レク（アルバム作り）
 - ・その他レク
 - ボールを使った運動
 - 体操（ごぼう先生の健康体操）
 - ・ 5月 ・ 工作レク
 - 6月のカレンダー作り（くもと雨）
 - 壁飾り作り（藤の花）
 - ・その他レク
 - カレー作り 13日
 - 運動レク 一人一人に合わせた 上肢・下肢運動
 - 体操（ごぼう先生のイス体操）

- ・ 防災訓練・消防点検 4月27日(火)
 - 消防訓練は、事前予告なしで実施しました。
 - デイサービスの当日、利用者様が1名だった為、一緒に外に出て避難した後、テイルームに戻りました。
 - この日の利用者様は、重度の認知症の方の為、建物の外へスタッフと避難することに重点を置きました。

(4) 苦情・事故・ヒヤリハット報告

- ・ 苦情 0件
- ・ 事故 0件
- ・ ヒヤリハット 4月：1件 テーブルの脚に、利用者様の足が引っ掛かりよろめき転倒。

(5) ご意見・要望・提案・助言

市職員から

1 「在宅生活を維持していくため、介護者、家族との連携にも力を入れている」とありますが、「介護者」とは誰のことでしょうか。

また、「連携」とは、具体的にどのような取り組みを行ってみえますか？

→ 「介護者」とは、ご家族様のことです。

→ 「連携」について

家族から、自宅での様子を伺い、デイサービスと在宅での生活パターンを把握しながら支援しています。その状況をケアマネージャーに連絡、利用している訪問看護ステーションに状況が把握できるよう連絡帳に記載しています。

ご家族には、送迎時に状況を話すようにしています。

このように、その人の状況を関わっている皆が、情報共有し理解していけるようにしています。

2 その他

・避難訓練の記載がありませんが、いつどのような内容で実施されましたか？

→ 記入漏れでした。活動状況に記載いたしました。

・職員のみで運営推進会議を開催されたとのことですが、どのようなことを協議しましたか？

→ コロナ感染拡大防止の為、消毒の徹底等どのように取り組むべきか話し合いました。

認知症対応型通所介護「デイサービス共想いの家」の取り組みを理解していただくため、どのように広報活動を行っていくか話し合い、より良いサービスを提供していくため、今後の仕組み作りについて協議しました。

はたやま地域包括支援センター職員から

・「共想い通信」の取り組みは、活動や情報が共有出来ていいと思います。

共想いカフェも含め、包括でも必要な方にご提案していければと思います。

引き続きよろしく願いたします。

→ 有難うございます。こちらこそ宜しく願いたします。

利用者ご家族様から

・家では寝てばかりの生活なので、いろんな事をさせて頂いてありがたいです。

ありがとうございます。

→ 有難うございます。今後も出来ることは共に行い、楽しんで頂けるよう支援させていただきます。

利用者ご家族様から

・車の送迎を始め、毎日の報告からスタッフの皆さんが、ていねいで、親切な様子を感じられ、家の者が安心していられることは本当に感謝です。

何もわからない人を受け入れて下さってありがとうございます。

→ 嬉しいお言葉有難うございます。出来る限りの支援はさせていただきます。

(6) その他

- 認知症カフェ【共想いカフェ】は、11月から毎月第2水曜日に開催を開始しました。

2月及び5月は、コロナ感染拡大防止の為、中止となりました。

★ 次回運営推進開催予定 令和3年11月18日(木) 14:45~15:30